

# えべおつ商工会報



2022.1.28  
発行・冬号

<https://ebeotsu.jp>

江部乙商工会

〒079-0462 滝川市江部乙町西12丁目1番15号  
TEL 0125-75-2529/FAX 0125-75-6332/E-mail ebeotsu@rose.ocn.ne.jp

とつても え〜べ〜！オツなくらし 困ったなァ〜と思ったら……まずあなたのための商工会へ！

## 新年のご挨拶

### コロナ禍における新たな取り組みを考える年に！



江部乙商工会  
会長 船奥 保

Tamoyasu Funaoku

江部乙商工会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年に引き続きコロナ禍での年越しとなりました。2年間にわたる新型コロナウイルスとの闘いは、急速に進んだワクチン接種や治療薬の開発もあり、ようやく事態打開に向けた光明が見え始めたところではありましたが、オミクロン株の出現により急速に感染拡大が進み、一度晴れかけた霧が進むべき道を阻んでいる今日この頃です。

北海道においてもまん延防止等重点措置が発令されるなど、未だ一部行動が制限される中ではありますが、この道が次第にはっきりし、一歩ずつでも前に進める年になることを心に描いています。皆様にとつても、公私ともにまばゆい光があふれる1年になりますよう心からご祈念申し上げます。

さて、皆様には新型コロナウイルスの感染予防を図りながら、安定した事業運営を行われていることに心から敬意と感謝の気持ちをお伝えします。当商工会におきましても会員へのサポートはもちろん、カヤギニまつりに代わる「スマイル大作戦season2」の実施など、皆様のご協力の下、地域の皆様へ元気と笑顔をお届けできたのではないかと考えています。また、滝川市・江部乙町合併50年の節目に未来につなげる事業として取り組んだ「デジタルアーカイブ」も完成を待つばかりとなっており、江部乙地域の魅力発信の一助になると期待しているところです。

まだまだ先の見通せない状態は続きますが、コロナ禍で起きた変化を踏まえ、新たなスタイルを目指すことが求められる1年になると思います。ポストコロナ時代の課題に対応すべく、事業者に寄り添う「伴走型支援」を着実に推進するほか、カヤギニまつりをはじめとする地域活性化事業のあり方を検討してまいります。

会員の皆様はもとより、江部乙地域全体が持続的に発展するために後押ししていく覚悟です。本年も皆様とともに前進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 新加入会員を紹介します!!

12月20日に開催された第4回理事会において、次の団体・事業所の加入が承認されましたのでお知らせします。

事業所名	業種	種別
1 特定非営利活動法人ゆにこみゅーん	学習支援	定款
2 宗教法人 照光寺	寺院	定款
3 株式会社えべおつwein	農業、小売業	一般
4 蛭子電腦社	ITサポート、小売販売、営業代行	一般
5 船奥AP	不動産業	一般(同族)

### 会員増強運動実施中!

お取引先やお知り合いの方で  
入会希望の方、未加入の方を  
ご紹介ください。

# 商 工会活動から

## スマイル大作戦season2デジタルアーカイブの収録終了！

スマイル大作戦season2「アートプロジェクト」の「バス停アート」に続くもうひとつの目玉「歴史や伝統の保存・活用事業～デジタルアーカイブ」の収録を12月10日、改善センターで行いました。

この事業は、滝川市・江部乙町合併50年の記念の年にあたり、合併当時を知る人たち取材し、映像記録として後世に語り継ぐというもので、当日は当時江部乙町役場職員で現市議会議員の木下八重子さんと元江部乙商工会理事で町内で給油所を営んでいた梅野恭正さんにインタビューし、当時の江部乙を振り返っていただきました。



また、将来を担う若い世代の対談も行い、当商工会会員で青年部長経験者の藤田雅巳さん、和田真児さん、現青年部長の岡田芳明さんの3名が江部乙地域の課題や将来の展望について熱く語りました。

現在は、本事業の委託先である札幌市の映像制作会社である株式会社アビリングが編集作業を行っており、3月に完成する予定です。出来上がったデジタルアーカイブは当商工会のホームページで公開し、江部乙地域の皆さんをはじめ、市内外の方々へ広く発信しますのでご期待ください。

## 滝川市長との懇談会を開催しました！

12月22日、船奥会長、木村副会長、東元副会長が市役所を訪れ、前田滝川市長と1時間にわたり和やかに懇談しました。会場の応接室には、前田市長のほか産業振興部長をはじめ総務部次長、市民生活部長も同席し、船奥会長から「江部乙地域の振興」「小規模事業者に対する支援」について、江部乙地域の現状と課題を交えて説明し、市の考え方を伺いました。

前田市長からは、人口減少は江部乙地域だけの問題ではないので、「移住・定住」など滝川市全体の問題として取り上げるべきとの認識を示したほか、様々な課題に対して一番魅力を理解している地元の方たちの意見を伺いながらどうしていくのか考えたい。また、商工会からも様々なアイデアを提案いただきたいと語りました。

中小法人・個人事業者のための

### 事業復活支援金

コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受ける中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者に対して、地域・業種を限定しない形で、事業規模に応じた事業復活支援金を給付する制度です。

#### 【申請期間】

令和4年1月31日(月)～5月31日(火)

#### 【給付対象】 ※①と②を満たす「中小法人・個人事業者」が給付対象。

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者
- ②令和3年11月～令和4年3月のいずれかの月の売上高が、平成30年11月～令和3年3月の任意の同じ月の売上高と比較して50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

#### 【給付額】

中小法人等 上限最大250万円、個人事業主等 上限最大50万円を支給  
給付額 = 基準期間の売上高 - 対象月の売上高 × 5か月分

以下のいずれかによる影響を受けて売上減少している方が対象です。

- ①国や地方自治体による、自社への休業・時短営業やイベント等の延期・中止その他のコロナ対策の要請  
※個人消費の減少につながるもの
- ②国や地方自治体による要請以外で、コロナ禍を理由として顧客・取引先が行う休業・時短営業やイベント等の延期・中止
- ③消費者の外出・移動の自粛や、新しい生活様式への移行
- ④海外の都市封鎖その他のコロナ関連規制
- ⑤コロナ関連の渡航制限等による海外渡航者や防犯渡航者の減少
- ⑥顧客・取引先が①～⑤、⑦～⑧のいずれかの影響を受けたこと
- ⑦コロナ禍を理由とした供給減少や流通制限
- ⑧国や地方自治体による休業・時短営業やイベント等の延期・中止その他のコロナ対策の要請  
※業務上不可欠な取引や関係機会の維持につながるもの
- ⑨国や地方自治体による就業に関するコロナ対策の要請

上記に記載されたいずれかの新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことについて、その裏付けとなる書類の追加提出を求める場合があります。

#### 相談窓口

電話番号のお掛け間違いが発生しております。お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。

**☎ 0120-789-140**

(携帯電話からもつながります)

※お電話は大変混み合うことが予想されますので、ホームページもご活用ください。

IP電話専用ダイヤル **03-6834-7593**

受付時間 **8:30-19:00**  
(土日・祝日も受付)

# 乙なNEWS

## 第4回江部乙ゆにこみゅーんが開催されました！

12月11日（土）、特定非営利活動法人ゆにこみゅーんと江部乙児童館、あひるの会が共同でクリスマス会（第4回江部乙ゆにこみゅーん）を開催しました。

当日は、30名を超える江部乙小・中学校の児童生徒が参加、改善センターの体育館でドッジボールなどを楽しんだ後、サンタクロースに扮した大学生からプレゼントを受け取っていました。

ゆにこみゅーんは、國學院大學北海道短期大学部の学生有志が立ち上げた学習支援を目的とした組織で、12月には特定非営利活動法人の認証を受け、当商工会にも加入いただきました。

子どもたちを育む場を提供する彼らの活動から今後とも目が離せません。



## 新型コロナウイルスの感染が拡大しています！

～ワクチンの追加(3回目)接種と冬期間の感染拡大防止にご協力ください～

オミクロン株の出現により、世界中で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、連日報道されているとおり日本でも過去最多の感染者数を更新している状況が続いています。滝川市内でも8割を超える市民の皆さんが2回接種を終えています。感染者が発生しクラスターも報告されています。

北海道にまん延防止等重点措置の適用（1月27日～2月20日）が決定されました。「手洗い、咳エチケット、マスク着用、人との距離を取る」といった基本的な感染防止行動の実践をお願いするとともに、症状のある方、いつもと体調が違ふといった方は、外出や移動を控え、かかりつけ医や診療・検査医療機関を受診しましょう。現在、北海道ではワクチン接種の有無にかかわらず、オミクロン株の感染拡大により、感染に不安を感じる無症状の方は無料で検査を受けることができますのでご利用ください。

さて、日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果がある一方、その効果や重症化予防効果は時間の経過に伴って徐々に低下していくとされています。このため、国は感染拡大防止及び重症化予防の観点から、初回（1回目・2回目）接種を完了したすべての方に対して、追加接種の機会を提供することとしています。滝川市においても、12月から医療従事者等への接種がすでに始まっており、一般の高齢者の方には1月24日から、2回目接種を終えられた順番で接種券を発送しています。接種開始日は2月7日からの予定ですが、接種券が届きましたらインターネットまたはコールセンターで事前予約の上、指定された医療機関で接種することになります。

各事業主の皆様におかれましては、ワクチン接種を希望する従業員の方の勤務免除など、各企業の実情に即した対応により、ワクチン接種をしやすい環境についてご配慮をお願いします。



### 《滝川市のワクチン接種予約関係》

- ・インターネット予約 受付期間 令和4年1月25日～
- ・滝川市新型コロナウイルスワクチンコールセンター 0570-037-289 9時～18時（土・日も営業）

### 《北海道のPCR検査料無料化推進事業》

- ・北海道VTP事務局コールセンター 0570-012-020

## 会員インタビュー②

Company&keyperson

# 子どもたちにいろいろな体験の場を！

当商工会の新会員“ゆにこみゅーん”代表の木村朱里さんに子どもたちの未来に貢献するという理想を掲げ突き進む熱い思いを語っていただきました。



特定非営利活動法人ゆにこみゅーん

きむら あかり

代表 木村 朱里

國學院大學北海道短期大学部  
総合教養学科 2年

### PROFILE

平成14年岡山県真庭市生まれ。  
中学、高校とバレーボール部に所属。大学の舛井ゼミで様々な地域活動に関わる傍ら、高校時代、短大入学後の経験から大学生と子どもたちが互いに支えあう学びの場を提供する“ゆにこみゅーん”を発足。令和3年12月にはNPO法人の認証を受け、代表を務める。

#### ―出身は？

木村：岡山県の北部、鳥取県と隣接する真庭市出身です。滝川市より栄えていなくて江部乙より少し栄えているかな。人口は約4万人で、ジャージー牛で有名な蒜山（ひるぜん）が観光地です。国からSDGs未来都市にも選ばれた先進的な市です。

#### ―中・高校時代に打ち込んでいたことは？

木村：バレーボールです。でも、高校の途中で辞めてしまって地域活性化に取り組んでいました。田舎だから高校は外に出てしまってマチに若い世代がいない。それを何とかしたくて縦のつながりを子どもたちに作ろうと思ひ、市役所に行ってそういう場が欲しいとお願いしました。

#### ―その頃の体験が今に繋がっているのかもしれない。

#### 北海道の大学を選んだのは？

木村：第一志望が國學院大学だったんですが落ちてしまって…。関西の大学は受かっていたんですが、どうしても國學院大学がよくて家に届いた短大のパンフレットを見て、行きますと。本学への編入は決まっていたのであとは卒業ですね（笑）

#### ―実際に来てみていかがですか？

木村：こちらに来なければアクティブに動こうとすることもなかったと思うストレートでなくて良かったと思っています。コロナで大学には1年ちょっとしか行けていませんが仲間と濃い時間を過ごしています。ただ、この雪は全く体験したことがなくて…。水道の水落として何のこと？って思いました。寒さには強くなって、帰省しても地元の寒さがへっちゃらになりました（笑）

#### ―江部乙の魅力や課題は？

木村：あたたかい人が多いと思います。何かやりたいと言ったら一緒に動いてくれる人がたくさんいます。地元には喧嘩だんじりがあって人を結び付けています。みんなが共通で郷土愛が感じられるお祭りなど、もっと人があつまるものや場があればいいと思います。

#### ―ゆにこみゅーんはどんな団体？

木村：学力だけで勝負できる時代は終わり、チーム力や行動する力、人を巻き込む力が必要だと感じます。子どもたちの抱える問題に大学生だからこそ寄り添い、一緒に解決方法を探していけるので関わるメリットがあると思っていました。また、首都圏だと小さい頃からいろいろな体験ができてしまっていますが、地方だとそうはいきません。地方の子どもたちがたくさん外を見に行ける場所を作りたいと思って仲間を募りました。いろいろな刺激を外部から与えて視野が広がる、世界が広がるような活動を目指して今活動しています。

#### ―やってみて手ごたえは？

木村：期待される団体になれているか正直不安ですが、子どもたちにも大人たちにも少しずつフィットしているのかなど。子どもたちと地域の問題を一緒に考えてみて、じゃあ何ができる？といったことを小さい頃から考えられるような環境を作りたいですね。

#### ―江部乙の皆さんへメッセージを

木村：図々しいお願いですが、第三者的にゆにこみゅーんを見守るというよりは、一緒に考えてくださると嬉しいなと思います。

## 司法書士による無料相談会

3月16日(水) 13:00～15:00

～隔月(奇数月)第3水曜日(要予約)～

会場 江部乙商工会館

講師 木村幸一(司法書士・行政書士)

内容 登記、少額訴訟、会社設立、相続その他

## 編集後記



滝川市は1月12日からの4日間で136センチの降雪でした。札幌の大雪よりはるかに多い積雪でも止まらない滝川市の除排雪の力を痛感。関係者に感謝ですね。落雪事故も多いので、皆様くれぐれも気をつけましょう。

事務局長 森 昌之